

10. ゆっくりの部屋（大阪市認知症の人の社会活動推進センター）

リーフレット

いきいき認知症 まちライブラリー

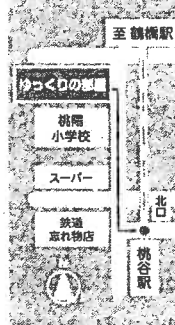
現代社会は情報化社会です。認知症についても多くの情報が流布していますが、読書を通じた知識の獲得は一時的ではなく継続的に蓄積していくことが可能です。「ゆっくりの部屋」では、市民が本を持ち寄り公開する「まちライブラリー」のシステムを導入し、認知症に関する本を集めた「**いきいき認知症まちライブラリー**」を開設しています。認知症の人自身が書いた本、認知症の人と共に生きようとする人が書いた本、認知症についての医療や福祉の立場から書かれた本など、認知症に関心を持つ人たちが本を片手に、ゆっくりと丁寧に話し合う素敵な場所にしましょう。

社会というのは、人がともにいることから始まります。同じ場所に同じ時にいるだけでは、必ずしも、ともにいることは成就されません。ともにいるためには、それぞれの人が出会い、ともに成すことを見つける必要があります。

大阪市が掲げた「**認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまちづくり**」の実現に向けて、認知症の人の生きがいや居場所づくりを支援し、認知症の人の社会活動を推進するための拠点が「ゆっくりの部屋（大阪市認知症の人の社会活動推進センター）」です。

桃谷駅からの来所方法（徒歩 約5分）

- ① 北口よりスロープを降りる
- ② 「鉄道忘れ物店」がある歩道へ渡る
- ③ スーパー「mandai」の方向へ直進する
- ④ スーパー「mandai」を通り過ぎ4分ほど直進する
- ⑤ 桃隈小学校を過ぎるとすぐに
- ⑥ 「ゆっくりの部屋」が富士ハイツ102号室にあります



開所日時

水曜日～土曜日 11時～17時
毎月、第2・第4・第5日曜日 13時～19時
(祝日、夏季及び年末年始を除く)

定休日

月曜日、火曜日、毎月第1・第3日曜日、祝日
夏季休業(8月13日～16日)
年末年始(12月29日～1月3日)

お問合せ
Tel: 06-4303-3301 Fax: 06-4303-3302
携帯: 080-9800-6880
Mail: yukkuri-osaka@ak.wakwak.com
〒543-0033
大阪府大阪市天王寺区堂ヶ芝1-2-2
富士ハイツ102号室 ゆっくりの部屋

人の話を聞くというのは、簡単なようで、実はとてもむづかしいことです。「きく」という日本語は、「聞く」「聴く」「訊く」「効く」「利く」というように漢字ではいろんな意味を表します。悩みや迷い、苦しみや悲しみを抱えた人にとって、どのような「きく」がこころを和らげてくれるのでしょうか。私たちは、悲しみや苦しみを抱えながらも、仲間の話を「きく」ことのできるピア・サポーターの役割が大きいと考えています。

認知症という事柄の当事者として、認知症の人の相談相手になるのが**認知症ピア・サポーター**です。「ゆっくりの部屋」で落ち着いた雰囲気の中、当事者同士の話を深め、社会へと一歩踏み出す勇気を育てましょう。あなたはもう一人ではなく、力強い仲間と一緒に。

自分の思いを「はなす」こと、しっかりと聞いてくれる人を相手に「はなす」ことには大きな意味があるとされています。言葉にすることで、自分を悩ませ苦しめていた事柄の輪郭が明確になり、それと一定の距離をもって冷静に考えることが可能になるからです。

また、人と対話を重ねるうちに、自分とは違う人の考えと出会うことで、考えを練り直すきっかけにもなります。誤解に基づくぎくしゃくした関係をほぐして新しい形に編みなおすこともできます。認知症の人が社会活動を積極的に進めるうえでも、**認知症の人を理解するための話し合いが大切な意味を持っています。**「ゆっくりの部屋」では、認知症の人を含めた多様な人たちの間で、ていねいな対話を進めていきます。

